



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社小僧寿し 上場取引所 東
コード番号 9973 URL <http://www.kozosushi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 将典
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 毛利 謙久 TEL 03-4586-1122
四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	2,244	△26.6	△21	—	△22	—	△39	—
2022年12月期第1四半期	3,055	98.8	△52	—	△54	—	△103	—

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 △38百万円 (—%) 2022年12月期第1四半期 △106百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	△0.20	—
2022年12月期第1四半期	△0.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第1四半期	3,010	543	17.2	2.57
2022年12月期	3,201	446	13.1	2.17

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 517百万円 2022年12月期 429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,610	△6.6	31	—	35	—	△20	—	△0.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	201,321,340株	2022年12月期	193,121,340株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	6,816株	2022年12月期	6,816株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	198,545,784株	2022年12月期 1 Q	162,529,795株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、現時点における経営環境において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2023年1月1日～2023年3月31日)におけるわが国経済は、深刻なコロナ禍を脱し、感染防止措置に対する様々な規制緩和が進んだことで、経済活動の再活性化に向けて動いております。その一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や円安による影響から、エネルギーコストの高騰、原材料の高騰・供給量の不足が生じるなど、依然として予断を許さない経済環境が続いております。当社が属する、中食・外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の規制緩和に端を発した経済活動の活発化により、来店客数に回復の動きが見られるものの、原材料の高騰及び労働力不足が解消されないことから、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境下において、当社グループは、主力事業セグメントである「小売事業(旧 持ち帰り寿し事業等)」「飲食事業」「デリバリー事業」の収益改善と事業成長を軸とした、2023年12月期～2025年12月期の中期経営計画を策定し、当社グループの基本方針である「多様な食を、多様な形で、多様な顧客へ」のもと、食と顧客を繋ぐ「トータル・フード・プロバイダー」として各事業セグメントにおける取組を進め、また、各事業セグメント間の取り組みを有機的に結合することで、新たな事業の創出を行う為の取り組みを進めております。

現時点における当社グループの取り組みは、下記となります。

- ・小売事業である食品スーパーマーケットを運営する株式会社だいまる(以下「だいまる」という。)の、小売商品、物流拠点や配送車等のリソースを活用した、「持ち帰り寿し店 小僧寿し」の小売事業店舗化の推進
- ・飲食事業においては、2022年10月に連結子会社とした株式会社TBJ(以下「TBJ」という。)にて運営する、メキシカン・ファストフード「TacoBell」の更なる新規出店、及び、とり鉄、どさん子等の新規出店を進め、事業領域を拡大するとともに、全国に展開する各ブランドの店舗を配送拠点(DEPO)とした、デリバリー事業の事業領域拡大の推進
- ・デリバリー事業において、自社流通機能の強化による収益率の改善を進める一方で、上記に記載するグループブランドの店舗を配送拠点(DEPO)としたデリバリー網の拡大、及び、フードデリバリー店「デリズ」にて展開する各ブランド単位のFC加盟を行う「ブランドシェアリング」の推進

主として上記の取り組みを進めることで、当社のグループスケールを活かした多面的かつ多層的な収益の確保を目指します。

上記の事業推進による取り組み及び、中食・外食業界における来店客数の増加により、既存店の売上高は前期に比べて増加しておりますが、前第1四半期連結累計期間と比較し、2022年6月に株式会社ミートクレスト、2022年10月に株式会社アニスピホールディングスの株式譲渡により連結対象外となった影響から、当第1四半期連結累計期間における売上高は、22億44百万円(前期比26.6%減少)となりました。

営業利益及び経常利益に関しまして、「飲食事業」におきましては、2021年7月に連結子会社とした株式会社Tlanseair(以下「トランセア」という。)、2022年7月に連結子会社としたアスラポート株式会社(以下「アスラポート」という。)、2022年10月に連結子会社としたTBJの各社が堅調な事業推進のもと、営業利益を計上している一方で、「小売事業」「デリバリー事業」において、前期と比較し収益構造の改善は進んでいるものの利益創出には至っていないことから、営業損失は21百万円(前年同期は52百万円の営業損失)、経常損失は22百万円(前年同期は54百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は39百万円(前期は1億3百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメント別の状況

① 小売事業

「持ち帰り寿し店 小僧寿し」の小売事業化の推進に伴い、旧「持ち帰り寿し事業等セグメント」を、当第1四半期連結会計期間より「小売事業セグメント」に変更いたしました。

小売事業は、株式会社小僧寿し、及び、食品スーパーマーケットを運営するだいまるによって構成されており、「持ち帰り寿し店 小僧寿し」「茶月」の直営店舗を73店舗(前年同期は76店舗)、だいまるが展開するスーパーマーケット「だいまるスーパー」を1店舗(前年同期は1店舗)展開しており、小売事業の直営店舗数は74店舗(前年同期比3店舗減少)となっております。

同セグメントの売上高は、直営店舗数の減少に伴い、10億25百万円(前年同期比6.5%減少)となりました。昨年度において、海産物の原材料価格の高騰により収益力に大きな影響が生じておりましたが、販売価格の改定により収益力は改善傾向にあり、セグメント損失は3百万円(前年同期は58百万円のセグメント損失)となりました。

② 飲食事業

飲食事業は、連結子会社であるトランセア、アスラポート、TBJ、株式会社スパイシークリエイティブ(以下「スパイシークリエイティブ」という。)において展開する飲食事業、焼き鳥と鳥料理の居酒屋「とり鉄」や、ラーメン業態の「どさん子」、メキシカン・ファストフードの「TacoBell」などの、外食・居酒屋業態のチェーン展開を行っており

ます。同セグメントにおいては、新型コロナウイルス感染症の緩和措置に端を発する来店客数の増加により、既存店の売上高は堅調に推移し、また、前年同期は連結対象外でありました、アスラポート、TBJの業績も寄与したことから、売上高は10億16百万円(前年同期比113.5%増加)とセグメント利益は1百万円(前年同期は0百万円のセグメント利益)となりました。

③ デリバリー事業

デリバリー事業は、連結子会社であるデリズにおいて、自社WEBサイト及び、「出前館」「UberEats」等の宅配ポータルサイトを介して、フードデリバリーを行う事業です。デリズでは、著名シェフとのコラボブランド商品の展開、当社のグループブランドである「小僧寿し」「どさん子」「キムカツ」等のコラボによる商品の展開等を行うなど「デリズでしか食べられない商品」の開発を進めております。また、全国に展開する当社グループ店舗を一つの宅配拠点(DEPO)とした、デリズの展開により事業の広域化を進め、更なる収益力の改善に努めております。当該事業においては、昨年度までに新規出店を積極的に実施してまいりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響下において競争が激化したデリバリー業界の中において、想定した売上高が確保出来ない不採算店舗の閉鎖を実施し、また、自社WEBサイトの強化及び自社デリバリー機能の活用により、収益力の改善に努めてまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間においては、一部不採算店の閉鎖に伴い売上高は2億88百万円(前年同期比20.8%減少)、セグメント損失は18百万円(前年同期は16百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は30億10百万円、前連結会計年度末に比べ1億91百万円の減少となりました。主な要因としては、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等により、流動資産が48百万円減少したこと、敷金及び保証金の減少等により、固定資産が1億42百万円減少したこと等によるものです。

負債合計は24億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億88百万円の減少となりました。主な要因としては、買掛金、未払金が減少したこと等によるものです。

純資産合計は、当第1四半期連結累計期間の業績を反映して5億43百万円となり、96百万円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想は、2023年2月15日開示の「2022年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」記載の連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	425,598	324,418
受取手形及び売掛金	468,763	446,270
商品	173,207	122,275
その他	299,767	427,067
貸倒引当金	△129,844	△131,374
流動資産合計	1,237,491	1,188,658
固定資産		
有形固定資産	448,928	441,422
無形固定資産		
のれん	399,799	388,700
その他	1,148	759
無形固定資産合計	400,948	389,460
投資その他の資産		
投資有価証券	1,110	1,110
敷金及び保証金	1,066,970	932,602
破産債権等に準ずる債権	248,903	248,903
その他	209,305	206,198
貸倒引当金	△411,996	△398,190
投資その他の資産合計	1,114,293	990,625
固定資産合計	1,964,170	1,821,507
繰延資産	313	313
資産合計	3,201,976	3,010,480
負債の部		
流動負債		
買掛金	525,462	395,032
短期借入金	40,600	100
1年内返済予定の長期借入金	62,572	58,589
未払金	484,823	431,553
契約負債	121,820	104,893
未払法人税等	54,160	24,288
未払消費税等	51,927	40,869
その他	237,685	263,978
流動負債合計	1,579,052	1,319,306
固定負債		
長期借入金	456,750	442,817
リース債務	73,328	67,943
資産除去債務	321,612	319,138
その他	324,401	317,637
固定負債合計	1,176,092	1,147,536
負債合計	2,755,145	2,466,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	887,733	955,689
資本剰余金	975,348	1,043,304
利益剰余金	△1,406,394	△1,446,391
自己株式	△7,434	△7,434
株主資本合計	449,252	545,166
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△28,728	△27,254
その他の包括利益累計額合計	△28,728	△27,254
新株予約権	1,317	1,126
非支配株主持分	24,989	24,598
純資産合計	446,831	543,637
負債純資産合計	3,201,976	3,010,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	3,055,989	2,244,281
売上原価	1,656,393	1,133,950
売上総利益	1,399,595	1,110,330
販売費及び一般管理費	1,451,827	1,131,399
営業損失(△)	△52,231	△21,069
営業外収益		
受取利息	1,229	1,235
その他	22,100	7,254
営業外収益合計	23,330	8,489
営業外費用		
支払利息	7,878	4,246
為替差損	—	3,638
その他	18,108	2,376
営業外費用合計	25,986	10,262
経常損失(△)	△54,887	△22,841
特別利益		
助成金収入	1,224	—
その他	2,876	—
特別利益合計	4,100	—
特別損失		
新型コロナ関連損失	16,550	—
その他	5,010	—
特別損失合計	21,561	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△72,348	△22,841
法人税、住民税及び事業税	25,529	17,546
法人税等調整額	6,683	—
法人税等合計	32,213	17,546
四半期純損失(△)	△104,561	△40,388
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△993	△391
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△103,567	△39,997

(四半期連結包括利益計算書)
(第1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純損失 (△)	△104,561	△40,388
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	339	1,474
その他有価証券評価差額金	△1,831	—
その他の包括利益合計	△1,491	1,474
四半期包括利益	△106,053	△38,913
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△105,059	△38,522
非支配株主に係る四半期包括利益	△993	△391

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使による新株の発行を行ったことにより、資本金が67,955千円、資本準備金が67,955千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が955,689千円、資本準備金が1,043,304千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自2022年1月1日 至2022年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	小売事業	飲食事業	デリバリー 事業	障がい者福 祉事業	食肉関連 事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	1,069,743	471,065	318,056	508,985	688,138	3,055,989	—	3,055,989
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	27,482	4,809	46,258	—	—	78,550	△78,550	—
計	1,097,226	475,874	364,314	508,985	688,138	3,134,539	△78,550	3,055,989
セグメント利益又は 損失(△)	△58,612	142	△16,406	34,446	△11,818	△52,248	17	△52,231

(注) セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの資産に関する情報

(子会社の増加による資産の著しい増加)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自2023年1月1日 至2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	小売事業	飲食事業	デリバリー事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	977,576	991,622	275,082	2,244,281	—	2,244,281
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	47,800	24,569	13,435	85,805	△85,805	—
計	1,025,376	1,016,192	288,518	2,330,086	△85,805	2,244,281
セグメント利益又は 損失 (△)	△3,627	1,457	△18,914	△21,084	15	△21,069

(注) セグメント利益または損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度において、当社の連結子会社であった株式会社アニスピホールディングス及び株式会社ミートクレストの全株式を譲渡したことに伴い、障がい者福祉事業及び食肉関連事業の運営を取りやめました。これに伴い、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの「障がい者福祉事業」「食肉関連事業」は発生しておりません。

当第1四半期連結会計期間から、従来「持ち帰り寿し事業等」としていた報告セグメントの名称を「小売事業」に変更しております。これに伴い、従来「持ち帰り寿し事業等」に含んでおりました一部事業を「飲食事業」に移管しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分及び名称に基づき作成しております。

3. 報告セグメントの資産に関する情報

(子会社の増加による資産の著しい増加)

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

株式取得による連結子会社化

当社は、2023年4月21日開催の取締役会において、株式会社JFLAホールディングスの完全子会社である東洋商事株式会社の株式を取得し、東洋商事株式会社(以下「東洋商事」という。)、及び、その完全子会社であるモリヨシ株式会社(以下「モリヨシ」という。)を完全子会社とすることを決議いたしました。

当該決議を経て、下記の概要にて、2023年5月1日付で東洋商事株式会社の株式を取得し、東洋商事及びモリヨシを完全子会社といたしました。

株式取得の概要

- | | |
|-----------|--|
| (1) 株式取得日 | 2023年5月1日 |
| (2) 買取宛 | 株式会社JFLAホールディングス |
| (3) 取得会社 | 東洋商事株式会社 |
| (4) 事業内容 | 業務用総合商品商社 |
| (5) 取得理由 | 東洋商事の完全子会社化により、同社が備える全国15か所の拠点及び60台超の配送車を介した物流機能を活用し、当社グループに自社物流機能を構築することを想定しております。この取り組みによって、全国に展開する当社グループの各店舗において発生する物流コストのコントロール、及び、物流コストの圧縮を見込んでおります。また、東洋商事の完全子会社であるモリヨシが製造する高品質の和惣菜を、「持ち帰り寿し店 小僧寿し」小売事業の商品ラインナップに加えるなど、小売事業における商品提供バリエーションの拡充が可能であると考えております。 |
| (6) 取得価額 | 1,000円(東洋商事株式1株につき1円) |